



Conference Station の概要

Cisco Unified IP Conference Station 7937G は、Internet Protocol (IP; インターネットプロトコル) ネットワークで音声通信を提供するための機能をすべて搭載した会議ステーションです。デジタル ビジネス フォンとほぼ同様に機能し、コールの発信および受信に加えて、ミュート、保留、転送、短縮ダイヤル、コール転送などの機能を使用できます。また、Conference Station はデータ ネットワークに接続されるため、IP テレフォニー機能が拡張され、ネットワーク情報とサービス、およびカスタマイズ可能な機能とサービスにアクセスできるようになります。さらに、いくつかのセキュリティ機能もサポートしています。

Conference Station はバックライト付きの LCD スクリーンを搭載し、10 個までの短縮ダイヤル番号のサポート、およびその他の各種の便利な機能を提供します。

Conference Station は、他のネットワーク デバイスと同様に、設定および管理が必要です。Conference Station は、G.711a、G.711u、G.729a、G.729ab のエンコード、および G.711 と G.729 のすべてのバリエーションのデコードを実行できます。また、16 ビット /16 KHz のワイドバンド オーディオをサポートしています。

この章は、次の項で構成されています。

- [Conference Station について \(P.1-2\)](#)
- [使用されているネットワーク プロトコル \(P.1-4\)](#)
- [Conference Station でサポートされる機能 \(P.1-6\)](#)
- [Conference Stations のセキュリティ機能について \(P.1-8\)](#)
- [Conference Station の設定および設置の概要 \(P.1-10\)](#)



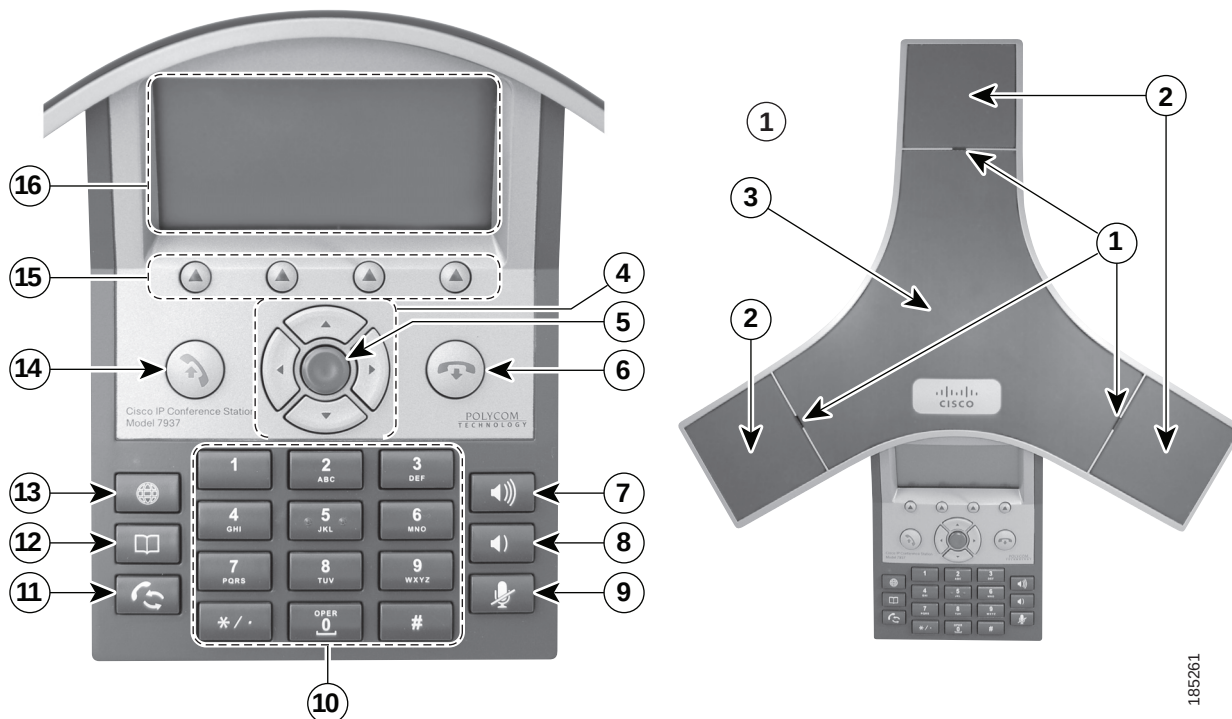
注意

セル方式の電話、携帯電話、GSM 電話、または双方向無線を Cisco Unified IP Conference Station 7937G のすぐ近くで使用すると、相互干渉が発生することがあります。詳細については、干渉が発生するデバイスの製造元のマニュアルを参照してください。

Conference Station について

図 1-1 に、Conference Station の主要コンポーネントを示します。

図 1-1 Cisco Unified IP Conference Station 7937G



1	LED インジケータ	3 個の複色 LED インジケータは、コールのステータス情報を提供します。 - 消灯：使用可、コール状況オフ - オレンジ：電源投入中 - 赤：電源投入中、ミュート、またはボイス メッセージ - 赤の点滅：保留 - 緑：ダイヤル トーン、ダイヤル中、または接続済み - 緑の点滅：コール着信（呼び出し中 / 接続中）、または受信
2	マイクروفオン	3 個の単方向内蔵マイクروفオン。
3	スピーカ	内蔵スピーカ。
4	ナビゲーション ボタン (4 個)	メニューのスクロールや項目の強調表示に使用します。
5	選択ボタン	現在選択されている画面メニュー オプションをアクティブにします。

185261

6	オンフック ボタン 	現在のコールを終了します。
7	音量のアップ ボタン 	スピーカ（オフフック）および呼出音（オンフック）の音量を上げます。
8	音量のダウン ボタン 	スピーカ（オフフック）および呼出音（オンフック）の音量を下げます。
9	ミュート ボタン 	ミュート機能のオン / オフを切り替えます。
10	キーパッド	Conference Station の番号のダイヤル、文字の入力、およびメニュー項目の選択に使用します。
11	リダイヤル ボタン 	直近のコール先番号にダイヤルします。
12	ディレクトリ ボタン 	[ディレクトリ] メニューを開閉します。履歴、短縮ダイヤル、およびディレクトリにアクセスできます。
13	アプリケーション ボタン 	[アプリケーション] メニューを開閉します。[メッセージ]、[設定]、および [サービス] の各メニューにアクセスできます。
14	オフフック ボタン 	ダイヤル トーンが鳴り、コールを開始できます。または、着信コールに応答します。
15	ソフトキー ボタン (4 個) 	スクリーンに表示されるソフトキー オプションを選択できます。
16	Conference Station スクリーン	Conference Station のメニューと機能を表示します。

使用されているネットワーク プロトコル

Conference Station は、音声通信に必要な業界標準のネットワークングプロトコルおよびシスコ ネットワークングプロトコルを複数サポートしています。表 1-1 は、Conference Station でサポートされるネットワークングプロトコルの概要を示しています。

表 1-1 Conference Station でサポートされるネットワーク プロトコル

ネットワーク プロトコル	目的	使用上の注意
シスコ検出プロトコル (CDP)	CDP は、シスコの製造するすべての装置で動作するデバイス検出プロトコルです。 デバイスは、CDP を使用して自身の存在をネットワーク内の他のデバイスにアドバタイズし、他のデバイスの情報を受信することができます。	Conference Station では、補助 VLAN ID、ポートごとの電源管理の詳細情報、QoS (Quality of Service) 設定情報などの情報を、CDP を使用して Cisco Catalyst スイッチとやり取りしています。
Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP)	DHCP は、IP アドレスを動的に確保して、ネットワーク デバイスに割り当てるものです。 DHCP を使用すると、Conference Station をネットワークに接続すれば、その Conference Station が機能するようになります。IP アドレスを手動で割り当てたり、ネットワーク パラメータを別途設定したりする必要はありません。	DHCP は、デフォルトで有効になっています。無効にした場合は、個々の Conference Station がある場所で、IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ、および TFTP サーバを手動で設定する必要があります。 シスコでは、DHCP のカスタム オプション 150 を使用することをお勧めします。この方法では、TFTP サーバの IP アドレスをオプション値として設定します。DHCP 設定の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco TFTP」の章を参照してください。
ハイパーテキスト転送プロトコル (HTTP)	HTTP は、インターネットや Web 経由で情報を転送し、ドキュメントを移送するための標準的な手段です。	Conference Station では、XML サービスおよびトラブルシューティングに HTTP を使用します。
インターネット プロトコル (IP)	IP は、パケットの宛先アドレスを指定し、ネットワーク経由で送信するメッセージングプロトコルです。	IP を使用して通信するには、ネットワーク デバイスに対して、IP アドレス、サブネット、およびゲートウェイが割り当てられている必要があります。 DHCP と一緒に Conference Station を使用する場合は、IP アドレス、サブネット、およびゲートウェイの識別情報が自動的に割り当てられます。DHCP を使用していない場合は、ローカルに手動で、これらのプロパティを各 Conference Station に割り当てる必要があります。
リアルタイム転送プロトコル (RTP)	RTP は、データ ネットワークを通じて、インタラクティブな音声や映像などのリアルタイム データを転送するための標準プロトコルです。	Conference Station では、RTP プロトコルを使用して、リアルタイム音声トラフィックを他の電話やゲートウェイとやり取りします。
Skinny Client Control Protocol (SCCP)	SCCP は、コール制御サーバとエンドポイント クライアント (IP Conference Station など) の間で通信を行うためのメッセージング セットを含んでいます。SCCP は、シスコシステムズ独自のものです。	Conference Station では、コールの制御に SCCP を使用します。

表 1-1 Conference Station でサポートされるネットワーク プロトコル (続き)

ネットワーク プロトコル	目的	使用上の注意
Transmission Control Protocol (TCP)	TCP は、コネクション型の転送プロトコルです。	Conference Station では、Cisco Unified Communications Manager への接続、および XML サービスへのアクセスに TCP を使用します。
Trivial File Transfer Protocol (TFTP)	TFTP を使用すると、ファイルをネットワーク経由で転送することができます。 Conference Station で TFTP を使用すると、Conference Station タイプ固有の設定ファイルを取得できます。	TFTP では、ネットワーク内に TFTP サーバが必要です。このサーバは、DHCP サーバで自動的に識別できます。DHCP サーバで指定された TFTP サーバとは別のサーバを Conference Station で使用する場合は、Conference Station の [ネットワークの設定] メニューで、TFTP サーバを手動で割り当てる必要があります。
ユーザ データグラム プロトコル (UDP)	UDP は、データ パケットを配信するためのコネクションレス型メッセージング プロトコルです。	Conference Station は RTP ストリームを送信および受信しますが、このストリームで UDP を利用しています。

関連項目

- [他のユニファイド IP コミュニケーション製品との連携について \(P.2-2\)](#)
- [Conference Station の起動プロセスについて \(P.2-6\)](#)
- [ネットワークの設定メニュー \(P.4-6\)](#)

Conference Station でサポートされる機能

Conference Station は、デジタル ビジネス会議ステーションとはほぼ同様に機能し、電話コールを発信および受信できます。従来のテレフォニー機能に加えて、Conference Station は Conference Station をネットワーク デバイスとして管理およびモニタする機能も備えています。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- [機能の概要 \(P.1-6\)](#)
- [テレフォニー機能の設定 \(P.1-7\)](#)
- [Conference Station でのネットワーク パラメータの設定 \(P.1-7\)](#)
- [ユーザへの機能情報の提供 \(P.1-7\)](#)

機能の概要

Conference Station は、コール転送や転送、リダイヤル、短縮ダイヤル、会議コール、ボイス メッセージ システムへのアクセスなど、従来のテレフォニー機能を提供します。Conference Station では、さらにその他の各種の機能も提供します。Conference Station がサポートしているテレフォニー機能の概要については、[P.5-2 の「Conference Station で使用できるテレフォニー機能」](#)を参照してください。

Conference Station は、他のネットワーク デバイスと同様に、Cisco Unified Communications Manager およびネットワークの他の部分にアクセスできるように設定する必要があります。DHCP を使用すると、Conference Station 上で設定する設定値が少なくなりますが、必要に応じて、IP アドレス、TFTP サーバ、およびサブネット マスクを手動で設定することもできます。Conference Station 上でネットワーク設定値を設定する手順については、[第 4 章「Conference Station の設定値の設定」](#)を参照してください。

Conference Station は、IP ネットワーク上の他のサービスやデバイスと連携することで、高度な機能を提供できます。たとえば、XML を使用すると、天気予報、株価情報、商品相場などの Web ベースの情報にユーザがアクセスできるようになります。これらのサービスの設定については、[P.5-7 の「社内ディレクトリとパーソナルディレクトリの設定」](#)および [P.5-9 の「サービスのセットアップ」](#)を参照してください。

さらに、Conference Station はネットワーク デバイスであるため、詳細なステータス情報を Conference Station から直接取得することができます。この情報は、ユーザが Conference Station を使用しているときに生じた問題をトラブルシューティングするのに役立ちます。詳細については、[第 7 章「Conference Station のモデル情報、ステータス、および統計情報の表示」](#)を参照してください。

関連項目

- [第 4 章「Conference Station の設定値の設定」](#)
- [第 5 章「機能、テンプレート、サービス、およびユーザの設定」](#)
- [第 9 章「トラブルシューティングおよびメンテナンス」](#)

テレフォニー機能の設定

Conference Station の一部の設定値は、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで変更することができます。この Web ベース アプリケーションを使用して、Conference Station 登録基準とコーリング サーチ スペースのセットアップ、社内ディレクトリとサービスの設定、Conference Station ボタン テンプレートの修正などを行うことができます。詳細については、P.5-2 の「[Conference Station で使用できるテレフォニー機能](#)」および『*Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド*』を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager の管理ページの詳細については、Cisco Unified Communications Manager のマニュアル (『*Cisco Unified Communications Manager システム ガイド*』など) を参照してください。また、このページで参照できる状況依存ヘルプも参考情報として利用できます。

Cisco Unified Communications Manager のマニュアル一式には、次の URL でアクセスできます。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/tsd_products_support_series_home.html

http://www.cisco.com/en/US/products/ps7273/tsd_products_support_series_home.html

関連項目

- [Conference Station で使用できるテレフォニー機能 \(P.5-2\)](#)

Conference Station でのネットワーク パラメータの設定

DHCP、TFTP、IP の設定値などのパラメータは、Conference Station で設定できます。また、現在のコールに関する統計情報や、ファームウェアのバージョンも Conference Station で取得できます。

Conference Station で機能を設定し、統計情報を表示する方法については、第 4 章「[Conference Station の設定値の設定](#)」および第 7 章「[Conference Station のモデル情報、ステータス、および統計情報の表示](#)」を参照してください。

ユーザへの機能情報の提供

システム管理者は、多くの場合、ネットワーク内や社内の Conference Station ユーザの主な情報源になります。機能や手順について確実に最新の情報を伝えるために、Conference Station のマニュアルをよく読んでおいてください。次の Cisco Unified IP Conference Station Web サイトに必ずアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html

このサイトから、各種のユーザ ガイドにアクセスできます。

重要なのは、ユーザにマニュアルを提供することのほかに、使用可能な Conference Station の機能を伝えること (企業やネットワーク独自の機能を含む) 、およびそれらの機能にアクセスし、必要に応じてカスタマイズする方法を教えることです。

システム管理者が Conference Station のユーザに提供する必要がある重要な情報の要約については、[付録 A 「Web サイトによるユーザへの情報提供」](#) を参照してください。

Conference Stations のセキュリティ機能について

Cisco Unified Communications Manager システムにセキュリティを実装すると、Conference Station と Cisco Unified Communications Manager サーバの ID 盗用や、データの改ざんを防止できます。

表 1-2 に、このマニュアルおよび他のマニュアルで、セキュリティに関する詳細情報が記載された箇所を示します。

表 1-2 Conference Station と Cisco Unified Communications Manager のセキュリティ トピック

トピック	参照先
セキュリティの詳細な説明 (Cisco Unified Communications Manager および Conference Station のセットアップ、設定、およびトラブルシューティングに関する情報を含む)	『Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド』を参照してください。
Conference Station でサポートされるセキュリティ機能	P.1-9 の「サポートされているセキュリティ機能の概要」を参照してください。
セキュリティ プロファイル名の表示	P.1-9 の「セキュリティ プロファイルについて」を参照してください。
セキュリティおよび Conference Station の起動プロセス	P.2-6 の「Conference Station の起動プロセスについて」を参照してください。
セキュリティおよび Conference Station の設定ファイル	P.2-5 の「Conference Station の設定ファイルについて」を参照してください。
セキュリティが実装されている場合の [TFTP サーバ 1] オプションまたは [TFTP サーバ 2] オプションの Conference Station による変更	P.4-6 の表 4-3 を参照してください。
Conference Station の [Unified CM の設定] メニューにある [CallManager 1] オプション～ [CallManager 5] オプションのセキュリティ アイコンの意味	P.4-10 の「Unified CM の設定メニュー」を参照してください。
Conference Station の [セキュリティ設定] メニューにある項目	P.4-12 の「セキュリティ設定メニュー」および P.4-14 の「セキュリティ設定メニュー」を参照してください。
Conference Station の Web ページへのアクセスの無効化	P.8-3 の「Web ページへのアクセスの無効化および有効化」を参照してください。
トラブルシューティング	『Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド』を参照してください。
Conference Station のリセットまたは復旧	P.9-13 の「Conference Station のリセットまたは復旧」を参照してください。

サポートされているセキュリティ機能の概要

表 1-3 に、Conference Station がサポートしているセキュリティ機能の概要を示します。これらの機能、および Cisco Unified Communications Manager と Conference Station のセキュリティの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド』を参照してください。

Conference Station の現在のセキュリティ設定を確認するには、Conference Station のセキュリティ設定のメニューを確認します（[アプリケーション] > [設定] > [セキュリティ設定] または [アプリケーション] > [設定] > [デバイス設定] > [セキュリティ設定] を選択）。詳細については、第 4 章「Conference Station の設定値の設定」を参照してください。

表 1-3 セキュリティ機能の概要

機能	説明
セキュリティ プロファイル	Conference Station は、常に安全でないものとして定義します。詳細については、P.1-9 の「セキュリティ プロファイルについて」を参照してください。
Conference Station の 802.1X 認証	Conference Station は、802.1X 認証を使用してネットワークへのアクセスを要求し、取得することができます。
Conference Station の Web サーバ機能の無効化（オプション）	Conference Station Web ページに対するアクセスを禁止できます。この Web ページには、Conference Station に関する各種の動作統計情報が表示されます。
Conference Station のセキュリティ強化	Cisco Unified Communications Manager の管理ページから制御する追加セキュリティ オプション。 • Gratuitous ARP（GARP）の無効化 • [設定] メニューへのアクセスを禁止または制限します。アクセスを制限した場合、ユーザがアクセスできるのは [設定] メニューの [ユーザ設定] メニューのみになります。 • Conference Station の Web ページへのアクセスの無効化 • Conference Station への SSH アクセスの無効化

関連項目

- セキュリティ プロファイルについて (P.1-9)
- デバイス設定メニュー (P.4-10)

セキュリティ プロファイルについて

Cisco Unified Communications Manager をサポートするすべての Conference Station は、Conference Station を安全でないものとして定義したセキュリティ プロファイルを使用します。セキュリティ プロファイルについては、『Cisco Unified Communications Manager セキュリティ ガイド Release 6.0』を参照してください。

Conference Station の設定および設置の概要

新しい IP テレフォニー システムを導入するときは、システム管理者とネットワーク管理者がいくつかの初期設定作業を実施して、ネットワークを IP テレフォニー サービス用に準備する必要があります。シスコ IP テレフォニー ネットワークのひととおりのセットアップと設定、およびそのチェックリストについては、『*Cisco Unified Communications Manager システム ガイド*』の「システム コンフィギュレーションの概要」の章を参照してください。

IP テレフォニー システムをセットアップし、システム全体にわたる機能を Cisco Unified Communications Manager で設定したら、Conference Station をシステムに追加できます。

Conference Station をネットワークに追加する手順の概要については、次の各トピックで説明します。

- [Cisco Unified Communications Manager での Conference Station の設定 \(P.1-10\)](#)
- [Conference Station の設置 \(P.1-13\)](#)

Cisco Unified Communications Manager での Conference Station の設定

Conference Station を Cisco Unified Communications Manager データベースに追加するには、次の方法を利用できます。

- 自動登録
- Cisco Unified Communications Manager の管理ページ
- 一括管理ツール (BAT)
- BAT と Tool for Auto-Registered Phones Support (TAPS)

これらの方法の詳細については、[P.2-8 の「Cisco Unified Communications Manager データベースへの Conference Station の追加」](#)を参照してください。

Conference Station を Cisco Unified Communications Manager で設定する方法の概略については、『*Cisco Unified Communications Manager システム ガイド*』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager での Conference Station の設定チェックリスト

表 1-4 に、Cisco Unified Communications Manager の管理ページで Conference Station を設定する作業について、概要およびチェックリストを示します。このリストは、お勧めする作業順序を表しており、Conference Station の設定プロセスについて順に解説しています。一部の作業は、システムおよびユーザのニーズによっては省略できます。詳細については、リストに示した資料を参照してください。

表 1-4 Cisco Unified Communications Manager での Conference Station の設定チェックリスト

作業	目的	参照先
1. Conference Station について、次の情報を収集します。 - Conference Station のモデル - MAC アドレス - Conference Station の設置場所 - Conference Station のユーザの名前または ID - デバイス プール - パーティション、コーリングサーチ スペース、およびロケーションの情報 - Conference Station に割り当てられた電話番号 - Conference Station に関連付ける Cisco Unified Communications Manager ユーザ - Conference Station テンプレート（ボタンおよびソフトキー）、機能、サービス、または Conference Station アプリケーションに影響する、Conference Station の使用状況情報	Conference Station をセットアップするための設定要件のリストを作成する。 個々の Conference Station を設定する前に実施する必要がある、Conference Station キー ボタン テンプレートやソフトキー テンプレートなどの前提的な設定作業を特定する。	『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章を参照してください。 P.5-2 の「Conference Station で使用できるテレフォニー機能」を参照してください。
2. 必要に応じてボタン テンプレートをカスタマイズします。	プライバシー機能を含んだカスタムボタン テンプレートを作成する。共有される Conference Station にこのテンプレートを割り当てると、ユーザがプライバシー機能にアクセスできます。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「電話ボタン テンプレートの設定」の章を参照してください。 P.5-8 の「ボタン テンプレートの変更」を参照してください。
3. Conference Station を追加および設定します。	デバイスを、デフォルト設定値を使用して Cisco Unified Communications Manager に追加する。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーション ガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章を参照してください。 [プロダクト固有の設定 (Product Specific Configuration)] のフィールドについては、[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウのヘルプを参照してください。

表 1-4 Cisco Unified Communications Manager での Conference Station の設定チェックリスト (続き)

作業	目的	参照先
4. Conference Station に電話番号を追加および設定します。	電話番号、および電話番号に関連付けられている機能を Conference Station に追加する。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章と「電話番号の設定」の章の「Cisco Unity または Cisco Unity Connection ボイスメールボックスの作成」の項を参照してください。 P.5-2 の「Conference Station で使用できるテレフォニー機能」を参照してください。
5. ソフトキー テンプレートをカスタマイズします。	ユーザの Conference Station に表示されるソフトキー機能を追加、削除、または順序変更して、機能の利用ニーズに対応する。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ソフトキー テンプレートの設定」の章を参照してください。 P.5-8 の「ソフトキー テンプレートの設定」を参照してください。
6. 短縮ダイヤル番号を割り当てます (オプション)。	短縮ダイヤル番号を追加する。  (注) ユーザは、ユーザ オプション Web ページを使用することで、短縮ダイヤルの設定値を Conference Station 上で変更できます。	次のマニュアルを参照してください。 『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone の設定」の章 『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「Cisco Unified IP Phone」の章
7. Conference Station サービスを設定し、サービスを割り当てます (オプション)。	Conference Station サービスを提供する。  (注) ユーザは、ユーザ オプション Web ページを使用することで、サービスを Conference Station 上で追加または変更できます。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「Cisco Unified IP Phone サービスの設定」の章を参照してください。 P.5-9 の「サービスのセットアップ」を参照してください。
8. ユーザ情報を追加します。	ユーザ情報を Cisco Unified Communications Manager のグローバルディレクトリに追加する。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「ユーザ / 電話機の追加の設定」の章を参照してください。 P.5-9 の「Cisco Unified Communications Manager へのユーザの追加」を参照してください。
9. ユーザおよびユーザ グループを Conference Station に関連付けます。	コールの転送、短縮ダイヤル番号やサービスの追加などについて、ユーザが Conference Station を制御できるようにする。  (注) Conference Station の中には、会議室にある Conference Station など、ユーザが関連付けられないものもあります。	『Cisco Unified Communications Manager アドミニストレーションガイド』の「エンドユーザの設定」の章の「エンドユーザとデバイスとの関連付け」の項を参照してください。

Conference Station の設置

Cisco Unified Communications Manager データベースに Conference Station を追加したら、Conference Station を設置できる状態になります。Conference Station は、管理者（または Conference Station のユーザ）がユーザの作業場所に設置します。Conference Station をネットワークに接続し、オプションのアクセサリを Conference Station に接続する方法については、『Cisco Unified IP Conference Station 7937G Installation Guide』で説明しています。このマニュアルには、次の URL からアクセスしてください。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html

Conference Station をネットワークに接続すると、Conference Station の起動プロセスが開始され、Conference Station が Cisco Unified Communications Manager に登録されます。Conference Station の設置を完了するには、DHCP サービスを有効にするかどうかに応じて、Conference Station 上でネットワーク設定値を設定します。

自動登録を使用した場合は、Conference Station をユーザに関連付ける、ボタン テーブルや電話番号を変更するなど、Conference Station の特定の設定情報をアップデートする必要があります。

Conference Station の設置チェックリスト

表 1-5 に、Conference Station を設置する作業について、概要およびチェックリストを示します。このリストは、お勧めする作業順序を表しており、Conference Station の設置について順に解説しています。一部の作業は、システムおよびユーザのニーズによっては省略できます。手順および内容の詳細については、リストに示した資料を参照してください。

表 1-5 Cisco Unified IP Conference Station 7937G の設置チェックリスト

作業	目的	参照先
1. Conference Station の電源を次の中から選択します。 - Power over Ethernet (PoE) - 外部電源	Conference Station に電力を供給する方法を決定する。	P.2-3 の「Conference Station への電力供給」を参照してください。
2. Conference Station を組み立てて位置を調節し、ネットワーク ケーブルを接続します。	Conference Station の位置を決めて設置し、ネットワークに接続する。	P.3-5 の「Conference Station の設置」を参照してください。
3. Conference Station の起動プロセスをモニタします。	Conference Station が適切に設定されていることを確認する。	P.3-9 の「Conference Station の起動プロセスの確認」を参照してください。

表 1-5 Cisco Unified IP Conference Station 7937G の設置チェックリスト (続き)

作業	目的	参照先
4. Conference Station で [アプリケーション] > [設定] > [ネットワークの設定] を選択して、次のネットワーク設定値を設定します。 DHCP を有効にする場合： [DHCP を使う] を [Yes] に設定する - 代替 TFTP サーバを使用する場合は、[代替 TFTP] を [Yes] に設定する [TFTPサーバ 1] に IP アドレスを入力する DHCP を無効にする場合： [DHCP を使う] を [No] に設定する - Conference Station のスタティック IP アドレスを入力する - サブネット マスクを入力する [デフォルトルータ 1] に IP アドレスを入力する - Conference Station が配置されるドメイン名を入力する [代替 TFTP] を [Yes] に設定する [TFTPサーバ 1] に IP アドレスを入力する	DHCP を使用する場合：IP アドレスが自動的に割り当てられ、Conference Station に TFTP サーバが指定されます。  (注) DHCP で割り当てられる TFTP サーバを使用する代わりに、代替 TFTP サーバを割り当てる必要がある場合は、ネットワーク管理者に連絡してください。 DHCP を使用しない場合：IP アドレス、TFTP サーバ、サブネット マスク、ドメイン名、およびデフォルト ルータを Conference Station の場所で設定する必要があります。	P.3-10 の「起動時のネットワーク設定値の設定」を参照してください。 P.4-6 の「ネットワークの設定メニュー」を参照してください。
5. Conference Station にセキュリティを設定します。	データ改ざんの脅威や、Conference Station の ID 盗用から保護する。	P.4-12 の「セキュリティ設定メニュー」を参照してください。 P.4-14 の「セキュリティ設定メニュー」を参照してください。
6. Conference Station を使用して、コールを発信します。	Conference Station および機能が正常に動作することを確認する。	『Cisco Unified IP Conference Station 7937G 電話ガイド for Cisco Unified Communications Manager 6.0』を参照してください。
7. エンド ユーザに対して、Conference Station の使用方法と Conference Station のオプションを設定する方法を通知します。	ユーザが十分な情報を得て、Conference Station を有効に活用できるようにする。	付録 A「Web サイトによるユーザへの情報提供」を参照してください。